

---

# 令和6年度北栄町高校生議会会議録

令和7年1月28日（火曜日）

---

## 議事日程

令和7年1月28日 午前9時30分開会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 一般質問

---

## 出席議員（10名）

|               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|
| 1番 福 羅 巧 誠君   | 2番 富 村 駿君     | 3番 杉 根 大 河君   |
| 4番 砂 澤 香 乃君   | 5番 土 海 蓮君     | 7番 道 祖 尾 菜 穂君 |
| 8番 竹 内 奈 南 海君 | 9番 井 澤 こ こ ろ君 | 10番 笹 山 翔 太君  |
| 11番 高 原 正 剛君  |               |               |

---

## 議長（1名）

議 長 浅 田 茉 衣君

---

## 欠席議員（1名）

6番 梅 津 志 門君

---

## 北栄町議会事務局出席職員職氏名

|       |            |    |          |
|-------|------------|----|----------|
| 事務局長  | 手 嶋 寿 征君   | 主幹 | 福 嶋 奈 美君 |
| 事務補佐員 | 長 谷 川 利 恵君 |    |          |

---

## 説明のため出席した者の職氏名

|           |          |        |            |
|-----------|----------|--------|------------|
| 町長        | 手 嶋 俊 樹君 | 副町長    | 岡 本 圭 司君   |
| 教育長       | 笠 見 隆 志君 | 総務課長   | 磯 江 昭 徳君   |
| 企画財政課長    | 中 野 智 子君 | 健康推進課長 | 前 田 美 友 紀君 |
| 産業振興課長    | 清 水 直 樹君 | 観光交流課長 | 永 田 裕 一君   |
| 環境エネルギー課長 | 杉 本 裕 史君 | 教育総務課長 | 松 本 裕 実君   |

---

午前 9 時 20 分 高校生議会開会式

○事務局長（手嶋 寿征君） 時間になりましたので、高校生議会の開会式を行います。

初めに、北栄町議会議長 野田秀樹が御挨拶いたします。

北栄町議会議長あいさつ

○町議会議長（野田 秀樹君） おはようございます。令和 6 年度の高校生議会の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。この高校生議会は、鳥取中央育英高等学校の地域探究の一環として、また主権者教育の一環として開催されます。行政、そして議会に関心を持ち、君たちの中から将来議会人が誕生することを願います。本日の一般質問の内容も、我々議員とは違った高校生の目線で捉えた見方、疑問が大変参考になります。今日は、君たち高校生議員の皆さんは悔いの残らないように、手嶋町長の心を揺さぶり、心をわしづかみにして訴えてください。また、本日の高校生議会を迎えるに当たり御指導いただきました先生方、そして議員の皆さん、本当にありがとうございました。皆さん、今日はしっかり頑張ってください。以上です。

○事務局長（手嶋 寿征君） 続きまして、北栄町長 手嶋俊樹が御挨拶いたします。

北栄町長あいさつ

○町長（手嶋 俊樹君） 皆さん、おはようございます。町長の手嶋でございます。こうやって高校生議会ということで、本当にいい経験に私はなると思います。他の高校ではなかなかこういうことはできません。この鳥取中央育英高校ならではのといいますか、そういうこの高校生議会だと思いますので、これまで研究されてきたこと、そして勉強されたことを、残念ながら私だけですけれど、教育長にもあってもよかったかなとは思いましたが、私のほうに質問をぶつけていただけたらと思います。そして、ふだんはなかなかこういう風景がありません。皆さんの後ろには町会議員さんがいらっしゃって、別の意味でちょっと違ったプレッシャーが、今、あるところであります。そうやって皆さんのほうから質問をいただいて、これまでも皆さんにいただいた質問の中から実際にこういうことをやったよというのが実績として出ております。今回の質問の中からもそういう町のためになるようなこと、町の活性化になるようなことは多分あったと思いますので、それが採用されれば、また、それこそ町の議員さんのほうに提案をして、予算がつくものであればそういうのも認めていただくということにつながってくると思います。本当にいい経験をしていただいて、先ほど議長のほうからもございましたけども、将来政治家を目指すんだ、そんな人がこの中から出ればと思っています。どうぞ今日はよろしくお願いいたします。

○事務局長（手嶋 寿征君） 最後に、鳥取中央育英高等学校 山田史子校長に御挨拶をお願いします。

鳥取中央育英高等学校長あいさつ

○校長（山田 史子君） おはようございます。日頃より本校の教育活動に対して御理解、御協力をいただき本当にありがとうございます。本校の地域探究の学習は、10 年ちょっとになると思うんですけども、本当に多くの住民の皆様に御指導いただいております。そのことにまずもって感謝を申し上げます。また、本校の魅力化についても多大な御協力

をいただいております。本当にありがとうございます。この地域探究の学びを通して北栄町の魅力に気づき、それから町を愛する気持ちを育み、町の発展に貢献できたり、町に恩返しのできる生徒を育てたい、そういう思いで日々教育活動を繰り広げているところがあります。本日は、主権者として次世代を担う本校の2年生たちに、この議会会場で北栄町の町政、町議会に参画させていただく機会をいただいております。ここまで、議員の皆様にも大変いろいろと御指導いただいたというふうに聞いております。本当にありがとうございます。こうやって政治に触れる機会をいただくことで、社会に対する広く新しい見方がありますとか、考え方、これを学んでいくことができることに、これも感謝をしているところです。今日は、生徒たちが未来の社会や地域を支えるその第一歩になる日だというふうにも感じています。本日、このような貴重な機会をいただいたことに改めて感謝を申し上げ挨拶いたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○事務局長（手嶋 寿征君） 以上で、開会式を終わります。

---

○事務局長（手嶋 寿征君） それでは、これより高校生議会の本会議を始めます。

北栄町議会議長による、高校生議長の指名

○町議会議長（野田 秀樹君） 高校生議会の開会に当たり、議長として、浅田茉衣議員を指名します。

---

午前9時27分開会

○議長（浅田 茉衣君） ただいま議長の指名を受けました、鳥取中央育英高等学校2年の浅田茉衣です。鳥取中央育英高等学校と北栄町にとって有意義な高校生議会となりますよう、皆さんの御協力をよろしくお願いいたします。

それでは会議を始めます。ただいまの出席議員は11名です。定足数に達していますので、これより令和6年度北栄町高校生議会を開会します。

なお、6番、梅津志門議員から欠席届が提出されています。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布したとおりです。

---

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（浅田 茉衣君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。高校生議会の会議録署名議員は、議長において、1番、福羅巧誠議員、2番、富村駿議員を指名します。

---

日程第2 会期の決定

○議長（浅田 茉衣君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。高校生議会の会期は、本日1日としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔 「異議なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（浅田 茉衣君） 御異議なしと認めます。よって、会期は本日1日と決定しました。

---

#### 日程第3 諸般の報告

○議長（浅田 茉衣君） 日程第3、諸般の報告をします。  
本会議の出席者は、お手元に配布した資料のとおりです。

---

#### 日程第4 一般質問

○議長（浅田 茉衣君） 日程第4、一般質問を行います。  
届出順により順次質問を許します。

1番、福羅巧誠議員。

○議員（1番 福羅 巧誠君） 1番、福羅巧誠です。僕は、道の駅ほうじょうに海水浴場を設置してはどうかについて、町長にお聞きします。

北栄町では、令和7年4月に道の駅ほうじょうが開業予定です。山陰道の整備も進んでおりジャンクションができる予定ですが、北栄町に立ち寄らず通過するだけにならないように、山陰道利用者が立ち寄りたくなるような施設整備が必要と考えます。

日本財団の「海と日本人」に関する意識調査によると、75%の小学生が海に行きたいと回答しています。しかし親世代を含めた全体の「海に行かない理由」の1位と2位は「家から海まで遠いから」「海に行くという発想がない」というもので、活動する場の近くに海があれば、小学生の子どもの親は「休日に海へ行く」という選択肢が現実味を帯びると思われます。現在、中部地区には海水浴場は1か所しかありません。道の駅ほうじょうにはオートキャンプ場がありますが、海水浴場はありません。

そこで、次のことを伺います。

さらなる魅力を付加するため、海水浴場を整備することについてどのように考えていらっしゃるでしょうか。

また、海水浴場を設置するとなると、中部という土地柄、西部や東部にない新たな魅力を備えた施設でなければ、海辺に一大観光地のある東部や西部に負けてしまいます。北栄町と言えば、スイカにラッキョウ、そしてコナンです。これらを生かした特別な海の家を設置やお土産コーナーなどの仕掛けがあれば、イベントも企画でき、集客も見込めると思いますが、いかがでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 福羅議員の、道の駅ほうじょうに海水浴場を設置してはどうかとの御質問にお答えします。

私が小さい時は、今、議員もおっしゃいましたけど、今、1か所っていう話をされています。私が小さい時は、小さいって言っても50年くらい前にはなるんですけど、昔、石脇って言ってたかな、石脇、それから羽合、八橋とか、3つはあったように覚えていま

す、この中部だけでも。本当に海水浴場が減って、多分、砂浜もどんどんどんどん浸食されて減ってきて、海水浴場に行く人も減ってきて、海水浴場としての営業とか、そういうのも成り立たなくなっているのかなという思いもあります。

今回、一般的に海水浴場ということでお話しさせていただきますけども、まず、遠浅ということが必要となってくるんだらうと思います。そして、比較的波の少ない砂浜が適していると言われています。道の駅ほうじょうの近くに海水浴場を設置してはということではありますが、ここは遠浅の地形ではございません。そして、先ほども少し言いましたけど、海岸浸食が進んでいることが大きな課題となっています。仮に、人工的に遠浅の海岸を造成しようとしても、莫大な工事費用がかさむことになります。鳥取県内の海岸は、北寄りの風が吹くと離岸流が発生しやすいという危険もあります。以上のことから、道の駅ほうじょうのところには海水浴場を整備することは難しいと考えています。

新しく開業する道の駅ほうじょうには、議員御指摘のスイカやラッキョウなど、地元の特産品を活用したお土産を販売するコーナーが数多く設けられるようになっています。また、オートキャンプ場を併設した道の駅は県内にはございません。昨年4月には新たにバーベキュー棟も新設され、天候に左右されることなくキャンプ料理を楽しんでいただける環境も整いました。道の駅で地元のおいしい食材を買われて、キャンプ場で料理して食べれば、道の駅の中で買い物と食事を一緒に楽しむことができます。また、駅舎には屋内にジャングルジムや滑り台など遊具を備えたキッズルームも整備されます。さらに、キャンプ場北側の海岸では海釣りを楽しむ方が多いのも、この道の駅ほうじょうの魅力の一つです。山陰道整備後も、通過されることなく多くの方が立ち寄りたくなる施設として、施設を運営する指定管理者とともに魅力の発信に努めてまいります。今年4月の開業にご期待いただきたいと思います。

○議長（浅田 茉衣君） 福羅議員。

○議員（1番 福羅 巧誠君） 海水浴場は無理だと言っていましたが、美しい海岸線がもったいないので、砂浜で夏場のイベントとして、オートキャンプ場の管理者と一緒に、スイカ早食い競争やスイカ割り大会などを企画してみてもどうでしょうか。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） とてもいい意見だなと思います。ここは指定管理といいまして、公共の施設を民間の方に運営管理していただいております。そういうところともお話をさせていただきながらより良いことができればなと思いますし、その施設の管理者がしなくても、例えばオートキャンプ場に來られた方でどんどんやっていただいても結構ではございますので、そういうところで検討しながらさせていただきたいと思います。

○議長（浅田 茉衣君） 福羅議員。

○議員（1番 福羅 巧誠君） もう一つ、日本財団の意識調査から、海に行くという発想がないと答えた人が多いので、海やその付近に何か特徴的なものを置く必要があると考えます。そこで、道の駅ほうじょうまたはキャンプ場の敷地内に、海に関連するコナンの像を設置してみてもどうでしょうか。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） コナンの像ということになりますと、なかなか場所的にも難しいところがございます。これは小学館、小プロの監修等も要とは思いますが、全然否定することとかではなくて、何かできる方法で、海岸、海に行けるようなそんなところを――道の駅でできるかどうかは分かりませんが、何かそういう誘導について検討してみたいと思います。

○議長（浅田 茉衣君） 福羅議員。

○議員（1番 福羅 巧誠君） 以上で質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 以上で、福羅議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（浅田 茉衣君） 2 番、富村駿議員。

○議員（2 番 富村 駿君） 2 番、富村駿です。僕は、青山剛昌ふるさと館のリニューアルに伴う課題の対策について、町長にお聞きします。

北栄町を訪れる観光客が増えていく中で、現在でも、ごみのポイ捨てが目立つなど課題があります。青山剛昌ふるさと館がリニューアルされると、さらに観光客が増えることが見込まれます。その際に見えてくる課題について、町長に伺います。

観光客が増えると、全国的にも問題となっているオーバーツーリズムの問題が懸念されます。ごみ処理やトイレ、衛生管理、限られた観光スポットへの人の過度な集中など、これらに対して町としてどのような取組を考えておられますか。

オーバーツーリズムの解消法としては、一極集中を避けるために近くに関連する施設を設置するという方法が考えられ、コナンを目当てとした観光客や町内の子どもたちも視野に入れ、それに対しコナンのアニメにちなんだグランピング施設やアスレチック施設などで人を分散させる必要があると思いますが、いかがでしょうか。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 富村議員の、青山剛昌ふるさと館リニューアルに伴う課題への対策についての御質問にお答えします。

このオーバーツーリズムについては、本当に懸念されるところではございますが、しっかりとした取組をしていきたいと思っているところでございます。

まず、観光客の増加に伴うオーバーツーリズムへの取組についてです。全国の多くの観光地では、議員の御指摘のとおり、ごみのポイ捨てやトイレの不足、限られた観光スポットへの人出の集中といった問題があります。幸い、本町の場合については、ごみのポイ捨てやトイレの不足を指摘されることがほとんどないのが現状であります。本町を訪れる観光客のマナーが良いことはもちろんですが、各施設で配っている観光マップに、トイレの位置を案内するなどの取組が成果を上げていると考えています。

一方で、近年、ゴールデンウィークやお盆休みを中心に、ふるさと館やコナンの家 米花商店街といった施設では、朝早くから多くの方が来場され行列になっている状況です。このうち、ふるさと館では昨年度から、入館者の多いゴールデンウィークやお盆休みに限定して入館チケットの事前予約販売を始め、1 日の入館者数を 2,500 人に制限する取組を進めています。これにより入館者を入館する日にちと時刻で振り分け、混雑を緩和させています。あわせて、これまで比較的入館の少なかった時期に、あえて限定のイベントに取り組んでいます。これによって、6 月、9 月、10 月、11 月、12 月の入館者数は過去最高を記録したことから、入館者の分散が進みオーバーツーリズムの解消に一役買っているところでもあります。

町としては、観光協会や商工会などと定期的に意見交換を続けています。ふるさと館の混雑緩和対策を例にとって、他の施設でも集客の分散が図れるように伝えるなど、対策に努めているところです。

なお、議員御提案のコナンにちなんだグランピングやアスレチックの施設については、多くの費用や用地などを確保する必要があるため、今のところは考えていません。ただし、宿泊施設の整備については、このオーバーツーリズムの対策として考えられると思い

ます。これから検討していく必要があると思っています。当面は、今ある施設の集客を分散させ、オーバーツーリズムを解消したいと考えています。

○議長（浅田 茉衣君） 富村議員。

○議員（2番 富村 駿君） 1月21日の日本海新聞に、JR由良駅前に宿泊施設を誘致し通過型から滞在型を目指すとありました。新聞記事の担当課長のコメントにあるよう、コナンに会える町、観光の町として、滞在してもらえる拠点が必要なら、思い切って一般の宿泊客ではなくコナン目当ての観光客だけをターゲットにしたホテルにしてはどうでしょうか。従来の国内の観光客からインバウンドの富裕層向けまで対応可能にし、価格も幅広く設定すれば、町全体に経済効果をもたらし、同時に、オーバーツーリズムの解消になるのではないのでしょうか。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） とてもよい意見をいただいたところです。まさに、そういうところも考えながら、今、取組をさせていただいているところであります。今、議員が御指摘になった新聞報道についても、サウンディング調査といいまして、宿泊業等についての意向調査をしているところであります。ホテルに限らず、例えば今でも、民泊といいまして、家のほうに来ていただいて泊まっていただくようなこともどんどん進んでいて、今、4軒ぐらい町内に既に民泊ができました。ここにもたくさんの方が泊まられていて、特に今、議員から御指摘もあったインバウンドの方も泊っておられます。確実に需要があるということと、あと、やはりコナン目当てということも多くあります。そういうところも含めて、これからいろいろと検討させていただきたいと思います。

少し、答弁について補足等を副町長に答弁させます。

○議長（浅田 茉衣君） 岡本副町長。

○副町長（岡本 圭司君） 富村議員の御質問について補足の答弁をさせていただきます。

1月21日の新聞報道につきましては、これからのまちづくりということで、もっとコナンを目当てに来ていただいたお客さんが繰り返し訪れていただいて、町の人手不足やそういうところにも活躍していただきたいということで、その中には滞在環境の整備というところが大切になっております。先ほど町長が申し上げましたような、由良駅前にそういった宿泊施設が誘致できないかということ及び由良宿コナン通り周辺とかを中心にそういった民泊等も含めた宿泊施設が誘致できないかということについて、今後計画を立てて、その計画に従ってそういうものが来やすい環境づくりということを進めたいと思います。本日いただきました御意見も参考にしながら進めていきたいと考えておりますので、ぜひまた御意見などいただければと思います。以上です。

○議長（浅田 茉衣君） 富村議員。

○議員（2番 富村 駿君） 以上で質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 以上で、富村議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（浅田 茉衣君） 3番、杉根大河議員。

○議員（3 番 杉根 大河君） 3 番、杉根大河です。僕は、治安・景観の改善に向けた対策の強化について、町長にお伺いします。

人口減や高齢化に伴い、地方では空き家や個人で管理しきれない老朽化した家屋が目立っています。中には、屋根が崩れていつ道路に瓦や壁が崩れ落ちてもおかしくない建物もあります。空き家や空き地の放置は、景観も悪く不安感などマイナスの心情を抱かせるだけではなく、実際に治安の悪化に直結します。物理的に危険なだけではなく、人が近寄らなくなると犯罪者にとっては絶好の隠れ場となるからです。安心安全のまちづくりの観点から、次のことを伺います。

北栄町では空き家バンクを実施し、空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例なども定めていらっしゃいますが、危険な状態の空き家が解消されていない要因は何だとお考えですか。

空き家発生の主な要因は、全国的にも、高齢者が老人ホームへ入居したり子どもの家に転居したりすることですが、高齢者の多い北栄町で、高齢者のみの家庭に対して、空き家にしないためのケアや対策はされているでしょうか。

事前に空き家になるタイミングで町に土地を贈与するという方法で、贈与税を払うのみで家屋の修繕、解体費及び固定資産税を免除するということはできないでしょうか。住居に残っているものはフリーマーケットに出したり、土地を公有地として使ったり、個人に払い下げするなどしたらよいのではないのでしょうか。

以上で、壇上での質問は終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 杉根議員の、治安・景観の改善に向けた対策の強化についての御質問にお答えします。

町内には、現在 275 戸の空き家を把握しています。そのうち、危険な状態と判定しているものは 28 戸であります。まず大前提として、なかなかこれは難しいところではございますけれども、危険な空き家等があった場合について、町のほうでお話をしてどんどん解体をしていけばいいというような感じには多分なるとは思いますが、ここにはやはり税金がかかってまいります。極端なお話をさせていただくと、放っておけば自分のお金で清算せずに税金で撤去していただける、そんなことになってはこれは元も子もございませぬ。そういうところで、いろいろ制限をつけながら解体等は行っているところでございます。

危険な空き家が解消されない理由の大きな要因は、やはり解体費が工面できないことが挙げられます。また、家屋を相続すると、多額の借金まであるというような場合もあり、相続放棄により放置され危険な空き家になっていくという例もあります。

空き家バンクのことにふれていただきましたが、仏壇があるから、あるいは盆や正月に帰省するからなどの理由で、状態の良いときに空き家バンク等を含めた活用や売却が行われない点があるようです。

次に、高齢者世帯への空き家についてのケアについてです。

高齢者世帯に特化した対応ということにはございませぬけれども、土地や建物の管理をしない要因の一つに、相続トラブルがあります。このため、高齢者のみの世帯だけに限定ではありませんが、町では、人生の終わりを見越して行う活動、「終活」と呼んでいます。



その終活の講座を開催しています。その中で、財産の整理について学んでいただいております。これを活用していただければと考えているところです。

次に、空き家物件の町への譲渡についてであります。

管理ができないなどの理由で、町に空き家や土地を譲りたいとする方の相談がまれにあります。町が譲渡を受ける、受けないの対応は、すごく不公平になる場合もあります。基本的には、町は贈与を受けないこととしております

○議長（浅田 茉衣君） 杉根議員。

○議員（3 番 杉根 大河君） 現在ある空き家を減らしていく政策が必要だと思いますが、具体的に考えていることはあるでしょうか。成果のある取組をお願いします。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） まさしく、重要な課題として取り組んでおります。議員も御存じだと思いますけども、町は空き家バンクというものをホームページのほうでも設置して、そこで移住とかされる方について提供をさせていただいているところでもございますし、先ほどの議員のときにもございましたけど、例えば新しい事業をする、例えば民泊事業をすることとかいう場合にも、そういうところにも相談をさせていただいて提供させていただくようなことで、少しでも空き家となることが減っていくような取組を今しているところであります。

○議長（浅田 茉衣君） 杉根議員。

○議員（3 番 杉根 大河君） 具体的に、空き家バンクで貸せる空き家というのは、安全な空き家は 275 軒とおっしゃいましたが、危険な空き家が 28 軒ということで、この 28 軒を今後どうしますか。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 危険な状態ということで、今にも崩れそうなどということですので、そういうのは空き家バンクのほうには登録しないようにはしております。提供できる状況ではございませんので、そういうところは提供しないようにはしていますが、今あった 28 軒については、審査会というのがございますけど、その審査会のほうでこれは本当に危険だという判定になった場合は、町のほうで、今でも町のほうからその所有者等には早く撤去をしてくださいという話はしているんですけど、基本的には撤去が中心となってまいります。強制的に撤去という場合もございます。そういうところも含めて、対応させていただいているところでございます。

○議長（浅田 茉衣君） 杉根議員。

○議員（3 番 杉根 大河君） 安全な空き家が 275 軒ということで、僕としては、家として使うのか、店として使うのか、集いの場として使うのかという観点で、僕は集いの場と店として使うことが一番だと思っています。具体的に言うと、集いの場をつくったら地域の方たちや旅行者の方たちなどの触れ合いが増えて、より一層活気が増えると思います。町長としては、残りの空き家バンクで貸せる安全な空き家で、空き家として貸していない空き家はというふうに使ったら一番いいのかをお伺いします。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） なかなか難しい問題であります。基本的には、全部が全部 275 戸空き家バンクに登録しているわけではございませんので、先ほど壇上でもお話しさせてい

ただきましたが、例えば仏壇があるから残してあるとかということがございます。それは少し、そこは調査をさせていただいて情報提供させていただきたいとは思いますが、やはり何か今議員が言われたその集まる場所とかというのに関しても、結局、町が全部するというのではなくて、やはり民間の方が積極的にそこに入っていていただき空き家を活用していく、そんな政策を取っていく必要があるんだろなということでもあります。そういう具合に、1軒でも多く活用していただき空き家にならないような、そんな取組をこれからも続けていきたいと思います。

○議長（浅田 茉衣君） 杉根議員。

○議員（3番 杉根 大河君） 以上で質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 以上で、杉根議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（浅田 茉衣君） 4番、砂澤香乃議員。

○議員（4番 砂澤 香乃君） 4番、砂澤香乃です。私は、町民、観光客の生の声を届ける企画実施について町長にお聞きします。

北栄町は、住民の意見を行政に取り入れる工夫を様々にされているところだと思います。しかし、北栄町に限らず多くの自治体で、そのような取組は有識者や自治参画への意識の高い一部の人に偏りがちであるのは共通の課題だと考えます。この課題に対し北栄町では、環境C F Oへの参加を高校生にも声掛けするなど、様々な人の意見を生かそうと工夫されているところだと思います。

この取組をさらに発展させるため、特に住民の素朴な思いを酌み取るため、また、北栄町は観光地でもあるので、観光客の声を集めるためのイベント企画を提案させていただきます。それは「コナン君の変声機で大声コンテスト」の開催です。町に対する要望や思いを声の大きさと競います。声の大きさとは別に、叫ばれた意見のうち町が取り組むべき内容を拾い、議会で議題に上げます。すると、住民自治や観光業の促進に役立てられるのではないかと考えますが、いかがでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 砂澤議員の、町民、観光客の生の声を届ける企画実施についての御質問にお答えします。

具体的には、コナン君の変声機を使った大声コンテストであります。名探偵コナンに登場する蝶ネクタイ型変声機については、青山剛昌ふるさと館内の展示物として設置してあるほか、玩具メーカーから商品として販売されております。町報やSNSなどの広報媒体を使って町民や観光客を募り、しかるべき会場を準備できれば大声コンテストというイベントを開催することは難しくないと考えております。仮に、展示物の変声機を使ってふるさと館内で開催しても、あるいは販売商品のおもちゃの変声機を使って屋外イベントとして開催しても、多くの町民、観光客、コナンファンが集まると思います。また、コンテストでは声の大きさとは別に、叫ばれた町に対する要望や思いを集めて住民自治や観光業に

役立てるとの御提案もいただきました。こちらについても、行政や観光の関係者が審査員を務めることでイベントは成立しますので、実施できないか検討したいと思います。

○議長（浅田 茉衣君） 砂澤議員。

○議員（4 番 砂澤 香乃君） できるとのことですが、特に人が集まるすいか・ながいもマラソン大会などに取り入れてみるのはいかがでしょうか。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） すいか・ながいもマラソン大会にということであります。具体のところでお話をさせていただきますけれども、当日、1 万人くらいですか、たくさんの方があの暑い中集まられます。その中で、仮にそこが終わったとしても本当に多くの方がまだ残っておられて、人の集客としては面白い提案だとは思いますが、なかなかその実施に向かうということになれば難しいものがあると思います。それとは別の機会で、なるべく違う方が集まるようなところで考えてみたいと思います。

○議長（浅田 茉衣君） 砂澤議員。

○議員（4 番 砂澤 香乃君） 以上で質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 以上で、砂澤議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（浅田 茉衣君） 5 番、土海蓮議員。

○議員（5 番 土海 蓮君） 5 番、土海蓮です。僕は、外国人向け宿泊施設誘致のための民泊等支援について町長にお伺いします。

北栄町は海外の観光客向けにもアピールを強めているところだと思います。RESAS 観光マップより、北栄町への観光は、米子や鳥取などに宿泊し、そこから日帰りで観光に来るというスタイルがメインです。日本人観光客には日帰り観光も苦ではないかもしれませんが、外国人観光客には宿泊施設のニーズがあると思います。近年北栄町で民泊を始めた方のお話でも、利用者の多くが海外のお客様であるとのことでした。海外の観光客向けに、日本の文化や田舎暮らしを体験できる民泊等宿泊施設のニーズは高いと思います。体験型の宿泊が増えると、観光客のコナン観光以外の需要、例えば農業や里山での体験活動など他分野への経済効果も見込まれます。

そこで、外国人受入れを前提とした民泊への支援・奨励及び宿泊施設を誘致される予定はないでしょうか。また、海外へのアピールの強化を検討されないでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 土海議員の、外国人向け宿泊施設誘致のための民泊等支援についての御質問にお答えいたします。

外国人受入れを前提ということではありませんが、町では、町内で創業される方のために支援補助金制度を創設しており、事業スタートの一助としていただいているところであります。これまでも、民泊業で創業される方にも支援を行っていますので、引き続き支援のほうをしていきたいと考えています。

宿泊施設の誘致についてですが、町としても、町内に宿泊施設ができることを望んでいます。現在、宿泊事業者を対象として、事業参入の可能性と今後の宿泊事業者誘致に向けた条件整備や情報収集を目的に、サウンディング型市場調査を実施し、事業参入に向けた諸条件のニーズを把握することにしています。この調査結果もうまく活用しながら、宿泊事業者誘致も進めていきたいと考えています。

また、議員御指摘のとおり、町内の民泊、ゲストハウスの利用者の多くは外国人観光客が占めています。御承知のとおり、本町では、青山剛昌ふるさと館やコナン通りを目的に国内外から多くの観光客、ファンの方々にお越しいただいておりますので、町内に宿泊される方もコナン目当てのお客が多い傾向にあります。外国人観光客が町内の民泊、ゲストハウスを予約される際、そのほとんどがネット予約によるものです。コナン目当ての方が多い現状を考えれば、周辺の観光案内として民泊やゲストハウスのホームページにふるさと館やコナン通りを紹介するリンクを貼るなどして、海外へのアピールはできると考えています。

また、海外へのアピールとして、北栄町を含む中部地区1市4町、そして岡山県真庭市の蒜山地区の圏域では、鳥取中部観光推進機構という広域観光DMOを構成して誘致、宣伝を行っています。その中でも北栄町のコナンは注目の的で、圏域でホテルや旅館を有する他市町と併せて、広いエリアでの外国人観光客の誘致を進めているところです。近年、北栄町でも民泊やゲストハウスの創業も相次いでおり、個人や少人数のグループの宿泊先として、今後は広域観光DMOの誘致、宣伝活動も活用しながら、海外へのアピールを強化したいと思います。

○議長（浅田 茉衣君） 土海議員。

○議員（5 番 土海 蓮君） 僕の先ほどの質問で、農業や里山での体験活動などと質問したんですが、他県では、自分の私有地を観光客に貸してそこで農業体験をしてもらったりなどがあるんですが、北栄町ではそのような農業体験などの具体的な例はありますか。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 教育的なところからも、例えば中学生だったりそういう方が民泊とか農家のところに宿泊されて、そこで農業体験される例もございます。新しく農業をされる方はちょっと別として、そうやって少しでも農業で有名なといいますか、北栄町の場合は農業が盛んでございますので、そういうところからも農業体験していただいているケースもございます。

○議長（浅田 茉衣君） 土海議員。

○議員（5 番 土海 蓮君） 以上で質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 以上で、土海議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（浅田 茉衣君） 土海議員。

○議員（5 番 土海 蓮君） 引き続き、6 番、梅津志門議員の質問を代読します。

○議長（浅田 茉衣君） 5 番、土海蓮議員。

○議員（5 番 土海 蓮君） 6 番、梅津志門議員の質問を代読します。

女性の職業参画と病児・病後児保育の支援について町長にお伺いします。

鳥取県は共働きしている率が高く、令和 2 年の国勢調査では鳥取県の夫婦共働き世帯の割合が 68.5%、その中で育児をしている女性の有業率は 87.9%といずれも全体平均を上回っています。

人口増加を狙う鳥取県としては、子育て王国として、育児と就業を両立できる環境をアピールできれば子育て世代の I ターン者を取り込めるのではないのでしょうか。子育てをする I ターン世帯の困り事として、頼れる親や親戚が近くにいないことが上げられます。特に、病気になった子どもを共働きで見るのは大変です。

そこで、次のことを伺います。

北栄町は病児保育、病後児保育を倉吉の厚生病院や野島病院に委託していますが、今後、北栄町内で病児・病後児保育を行う意思があるか伺います。大誠こども園横の大栄健康増進センターで小児の健診を行っていらっしゃるようですが、この場所に小児科医が常駐できると、小児科としての機能と病児・病後児保育の機能の両方ができると思います。新たにつくるのではなく、これまである機能を拡充する形での実現は難しいのでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 梅津議員の、女性の職業参画と病児・病後児保育の支援についての御質問にお答えします。

はじめに、北栄町内で病児・病後児保育を行う意思があるかということでございます。

現在北栄町では、病児・病後児保育の希望がある方については、議員の御指摘のとおり、倉吉市内の施設を利用させていただいており、病児保育は厚生病院内の「きらきら園」、病後児保育は野島病院内の「すくすく園」を利用させていただいています。先日、湯梨浜町のほうでも、新たにアロハホールの近くに「キッズケア ポノ」という病児保育の施設ができました。1 日 3 人ということではありますが、そういうこともできております。北栄町の令和 5 年度の利用件数といたしましては、延べで、病児保育が 66 件、病後児保育が 5 件という状況です。北栄町内で病児・病後児保育を行う意思があるかとのことですが、まず、今、北栄町に小児科というのがございませぬ。町内に小児科の病院が開業され、その小児科で病児・病後児保育事業を実施していただけると、そういういろんな条件が整えば、ぜひお願いしたいところでございます。

次に、大栄健康増進センターで機能拡充する形で小児科、病児・病後児保育の実現は可能かということであります。

大栄健康増進センターは、町民の保健、福祉の増進を図る拠点施設として設置しています。現在の利用状況ですが、令和 5 年度、子どもの健診や各種教室、大人の健診やがん検診、料理教室や講習会など年間 373 回の利用がありました。また、施設の一部は年間を通して子育て支援センターを開設し、子育てをしている方の息抜きや育児相談の場として様々な事業を行っているところです。現在の大栄健康増進センターの利用状況を考えますと、小児科や病児・病後児保育への活用は困難だと考えています。しかしながら、議員が御提案されるとおり、今ある施設を機能拡充して有効利用するという考え方は必要と考

えますので、先生の誘致もそうですが、引き続き、そうした視点を持ちながら業務を進めていきたいと思っております。

なお、北栄町では、町民が安心して医療サービスを受けることができる医療体制の構築を図るため、新たに診療所や病院の新規開設、事業承継を目的とした既存施設の拡充をする医師や法人に対し、支援を行う制度を設けているところを申し添えておきます。

○議長（浅田 茉衣君） 土海議員。

○議員（5 番 土海 蓮君） 病児・病後児保育をつくるには看護師などが必要だと思うんですが、その看護師たちに支援をすることで、その看護師が病児・病後児保育携わってくれると思うんですが、その支援などはされているのですか。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 現在1市4町で、「きらきら園」「すくすく園」を利用されている方については、応分の負担をしております。その中にそういう費用も含まれているものだと思いますが、もし、新しいところをつくるにしても、本町だけではなくていろいろなところからも支援をいただきながら看護師等の運営等に関わる費用について、できるかどうかは今後検討させていただきたいと思います。

○議長（浅田 茉衣君） 土海議員。

○議員（5 番 土海 蓮君） 以上で質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 以上で、梅津議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（浅田 茉衣君） 7 番、道祖尾菜穂議員。

○議員（7 番 道祖尾 菜穂君） 7 番、道祖尾菜穂です。私は、地球温暖化対策と耕作放棄地対策について町長にお聞きします。

北栄町では、エナテクスファームがソーラーパネルの下でシイタケなどを栽培し、農地を活用しながら太陽光発電を行っておられます。循環型社会の形成は全国的課題でもあり、すばらしい取組だと思います。一方で、高齢化や他地域への移住などで耕作放棄地も増えており、北栄町地域計画で対策も行っているらっしゃると聞きます。

そこで、次のことを伺います。

エナテクスファームのようなソーラーシェアリングの取組は、農業と太陽光発電の両方から収入が得られ農家の収入安定にもつながります。また、地球温暖化対策を推奨するという意味でもメリットがあると思います。ソーラーシェアリングを町として支援していく考えがあるのか伺います。

北栄町では農家を増やしたいという思いがあると思うのですが、新たに農業を始める方の大きな心配事として、農地の確保と軌道に乗るまでの収入が挙げられます。そこで、農地に関しては北栄町が行っているような耕作放棄地のバンクなどで対応し、収入は太陽光発電からの収入である程度補強できると思うので、両方を抱き合わせた形でモデルケースとして推奨されてはいかがでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 道祖尾議員の、地球温暖化対策と耕作放棄地対策についての御質問にお答えします。

はじめに、ソーラーシェアリングを町として支援していく考えがあるかについてということであります。

ソーラーシェアリングは、太陽光発電設備の架台を高くして、その下で農作物を栽培することで、御指摘のとおり、北栄町では株式会社エナテックスのグループが大谷と高千穂で実際に行っています。高千穂ではサンシェードプリンスというシイタケを栽培されており、私も食べましたがとても大きくて食べ応えがあり、味も濃厚でありました。大谷では昨年までキリンソウを栽培されていましたが、今年からはドクダミを栽培されています。ソーラーシェアリングは、発電施設の下で農作物を栽培するので日陰になりやすいため、日陰でよく育つものでなければならず、太陽光発電がない場合と比較して8割以上の収穫を確保することが法で定められています。また、太陽光発電設備には設置費が必要になります。初期投資の負担が大きくなるため、収入の安定につながる部分はありますが、経営的な安定と必ずしも直結しない場合もあります。しかしながら、脱炭素を進めながら農地も守れるという面からもソーラーシェアリングは重要な取組と考えており、例えば設置に対する支援等、必要な支援はしていきたいと考えております。

次にソーラーシェアリングのモデルケースとしての推奨についてですが、先ほどお話ししましたように、農地の利用方法が制約される部分もあり、全ての農地に適用できるものではございません。できる場合とできない場合があります。農業でもスマート農業が促進されており電気を使う場面が増えてきていると思いますので、その部分を再生可能エネルギーで補うなど実態に合った形でいろいろと検討をし、推進していきたいと考えています。

○議長（浅田 茉衣君） 道祖尾議員。

○議員（7 番 道祖尾 菜穂君） 北栄町では、2050 年までにゼロカーボンを実現するための2050年北栄町脱炭素ロードマップを策定されておりますが、再生可能エネルギー普及促進という側面も大きくあると思いますが、環境的な側面からソーラーシェアリングについてどうお考えでしょうか。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 追加の質問をいただきました。再エネ、そして省エネも含めて、2050年までの脱炭素を実現していかなくはなりません。そういう面からしても、このソーラーシェアリング等についてもしっかりと支援を考えているところでございます。

○議長（浅田 茉衣君） 道祖尾議員。

○議員（7 番 道祖尾 菜穂君） 以上で質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 以上で、道祖尾議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（浅田 茉衣君） 8 番、竹内奈南海議員。

○議員（8 番 竹内 奈南海君） 8 番、竹内奈南海です。私は、「B to B（ボトル to ボトル）」について町長にお聞きします。

昨年から、北栄町、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、中部ふるさと広域連合、倉吉資源リサイクル協同組合とサントリーで協力して、「ボトル to ボトル」水平リサイクルという取組を行っておられ、とても素晴らしい取組であると考えています。しかし、認知度はまだ低く、特にペットボトルを多用する中高生などの若年層にあまり知られていません。私たちも、地域探究学習の発表などを通して校内の生徒に周知したり、外部に対してもアピールしたりできないか模索していきたいと思っておりますが、町としても、小中学校の児童生徒や若い人たちに広く周知してほしいと考えます。

そこで、次のことについて伺います。

「ボトル to ボトル」の取組を、すいか・ながいも健康マラソン大会をはじめとする町内のスポーツ大会、砂丘まつりなどで周知してはどうでしょうか。

また、町内の小中学校において「ボトル to ボトル」の学習機会や回収箇所を設けてはどうでしょうか。

北栄町で行われるイベントの際に、回収ボックスを置いたり啓発運動をされてはどうでしょうか。

さらに、取組の２年目以降は、前年度までの取組とその成果を見える形で提示することで、やったことの意義が見え、積極的に活動を広める意欲が生じると思うので、成果を伝えることも検討してはいかがでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 竹内議員の「ボトル to ボトル」についての御質問にお答えします。

まず、周知の取組についてですが、町では、町のホームページ、SNS、町報、出前講座、小学校での環境学習会、主要施策の成果などで周知しているところです。

一方、若い方への周知が進んでいない状況ということも御指摘いただきました。町内の、先ほどいただいたすいか・ながいもマラソンとかいろいろなイベントでチラシの配布だったり、環境ブースの設置等による周知を検討していきたいと思っております。

また、小学校への環境学習については、小学４年生を対象に現在も行っております。引き続き継続するとともに、環境学習の対象を広げるなどの検討もしていきたいと思えます。なお、必要があれば、サントリーと連携して鳥取中央育英高校の皆さんに向けた啓発授業も実施していきたいと思えますので、検討していただきたいと思えます。

小中学校への回収箇所の設置については、学校側と協議し、可能であれば検討をしていきたいと思えますが、ペットボトルはつぶさずに回収することを基本としており、通学時にペットボトルを持ってくることはなかなか難しいかなと思います。家庭や地域を中心に、できる範囲で回収を進めていただきたいと思えます。例えば、毎月各自治会の収集箇所で再生資源の日を設けて回収していますし、大栄庁舎、旧北条庁舎のリサイクルステーションで回収していますので、出しやすいところで回収の協力をお願いしたいと思えます。

なお、回収については、再生する資源の質を高めるため、キャップを外す、ラベルを剥がす、中を洗って出すなどの条件があります。生徒の中で、通学時に役場庁舎裏のリサイ



クルステーションの前を通られる人もいますので、先ほどの条件で回収の協力をしていただければと思います。

また、イベント時に回収ボックスを置いての啓発活動についてですが、ペットボトルの回収には、先ほど説明した条件があることから、イベントでの回収というのは少し難しいと思っております。これまで説明した周知方法等で啓発していきたいと思っております。

また、成果の周知については、回収しているペットボトルの量と併せてCO<sub>2</sub>の削減効果などを各種イベントで周知したり、町全体の成果として幅広くPRしていきたいと思っております。

なお、マイボトルや水筒等の活用を行い、ペットボトル自体の利用量の削減についても啓発を進めていきます。

○議長（浅田 茉衣君） 竹内議員。

○議員（8 番 竹内 奈南海君） サントリーから、ラベル、キャップ、ペットボトルを同時に回収することのできる回収箱が出ていますが、それを、人の目がつく役場や青山剛昌ふるさと館に設置してみてはどうでしょうか。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 対応はしているところではございますが、詳細について担当課長に答弁させます。

○議長（浅田 茉衣君） 杉本環境エネルギー課長。

○環境エネルギー課長（杉本 裕史君） 今でもサントリーとはいろいろな話をしておりますので、今の議員の声を届けて、相談しながら進めたいと思っております。

○議長（浅田 茉衣君） 竹内議員。

○議員（8 番 竹内 奈南海君） 以上で質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 以上で、竹内議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（浅田 茉衣君） 9 番、井澤こころ議員。

○議員（9 番 井澤 こころ君） 9 番、井澤こころです。ジャンボタニシの駆除と新たな特産品と観光業について町長にお聞きします。

近年、暖冬により、北栄町では稲の苗をジャンボタニシが食い荒らす被害が拡大しています。町でも啓発運動や対策方法を提示されていますが、もう一歩積極的な対策を打ち出したらどうかと思い、町長に次のことをお伺いします。

ジャンボタニシ対策として、合鴨農法の導入を町が支援してはいかがでしょうか。合鴨は雑草や害虫を食べ、ジャンボタニシの被害軽減と農薬代の削減が見込まれ、さらに合鴨が田に糞尿をすることで有機肥料も得られ、肥料代も軽減され、土壌の質改善も見込めます。

また、成長した合鴨は食用にできます。囲いの設置や食用加工の公的支援があれば、農家としても取り組みやすいはずです。さらに利点として、有機栽培のお米は付加価値がつきブランド化も見込めますし、町が支援してくだされれば合鴨料理も新たな特産品になるのではないのでしょうか。

そして、愛らしい合鴨のひなは観光客の人気者になるのは間違いありません。御検討いただきたいと思います。いかがでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 井澤議員の、ジャンボタニシ、正式にはスクミリングガイといますが、ここではあえてジャンボタニシと言わせていただきます。ジャンボタニシの駆除と新たな特産品と観光業についての御質問にお答えします。

町内で発生しているジャンボタニシ対策として、御提案をいただいた合鴨農法を活用したジャンボタニシの駆除は、合鴨農法により複合的に作用する有機農業の促進とブランド米の販売、ひな鴨観光や合鴨料理による特産品の創作は、一石二鳥、一石三鳥・四鳥の可能性があると感じています。実は私も、自分のところの地域で合鴨農法をしたことがあります。議員御指摘のジャンボタニシではございませんけど、水草を食べるということでしたが、本当にかわいいです。ひなの頃はかわいくてあれなんですけど、維持管理がものすごく大変です。草だけではなかなか成長しませんので、餌をやったり、あるいは外敵がありますので網を張ったり、結構大変でした。せっかく育てた合鴨は、議員御指摘のとおり、鴨料理で頂きましたが、なかなかそれも続かずに2年間くらいでちょっとしんどくなってやめた経験もございます。

合鴨農法を活用したタニシの駆除については、いろんなところで、熊本県とか兵庫県で既に取り組んでいる方や、研究をしている方もいらっしゃいます。議員も心配されている資材費等の導入費用にハードルがあるようであります。

さて、令和6年中の北栄町のジャンボタニシの発生状況ですが、西園から弓原までのJR線路周辺にある水田73ヘクタール、これは発生状況です。73ヘクタール、これは、そこにある育英高校の野球場78個分に相当する面積です。これは、ジャンボタニシが発生しただけであります。被害のほうですが、苗の被害は1.5ヘクタールであります。この発生に対し、町は対策協議会の設置、また協議会で要望があった防除対策を支援するため、駆除に必要な農薬代や水口ネット設置経費について補助金を交付しています。

ジャンボタニシが大量発生した令和2年以降、生産組織、JA、鳥取県等の関係機関と連携し防除対策を継続して実施しているため、発生地域が拡大してもジャンボタニシが稲を食べる食害面積の増大を抑え込み、米の収穫量減少の食い止めができています。

このたび議員から提案のあった合鴨農法の取組は、有機農業による環境負荷低減、ブランド米、観光資源、特産品と多くの可能性があるものの、これまでお話ししたとおり、取組に対する費用とその効果、また合鴨農法が全国的に普及していない状況を見ますと、町としましては、引き続き生産組織と連携し、現在の防除対策の取組を継続したいと考えています。

○議長（浅田 茉衣君） 井澤議員。

○議員（9番 井澤 こころ君） 合鴨農法はメリットもたくさんありますが、先ほど町長からいただいた費用の関係や維持の大変さなどもあります。合鴨はたくさんの可能性があって、観光業や農家さん、町にも貢献できます。それに、現在、米農家さんの後継ぎ不足も問題になっていると私は思っていて、小さい子たちが合鴨を見ることで、米作りへの

関心が高まって次の世代の農家さんを育成できる効果もあると私は思っています。御検討いただけないでしょうか。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 本当に、今、議員御指摘のとおり、小さい時からそうやって米作りを楽しみながらやっていくという面に関しても、本当に多くの効果があると思います。先ほども壇上でお話をさせていただきましたが、私のところでもそういう具合にやって、小さい子どもたちがそれを見ながら米作りの大切さとか、あるいは農業の重要性について学び、そしてこれから農業についても理解を得てくれるような、そんな取組をしていたところではありますが、いかんせん、先ほども言いましたけども、ずっとこれを継続していく費用面であったり、あるいは体力であったりというのがなかなか難しいというところがございます。町としては、こういうような耕法がありますよというのは当然周知はさせていただきますが、町のほうで取り組んでいくというのは、なかなか難しいのかなとおるところであります。

○議長（浅田 茉衣君） 井澤議員。

○議員（9 番 井澤 ころろ君） 現在合鴨農法を取り入れられている農家さんの数とかは、把握されておられますでしょうか。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 北栄町内ではないと思います。全国では、熊本県とか兵庫県で取り組んでいる農家があるというような情報はございますけど、鳥取県であるのかな——、私はそこまではよく把握しておりません。

○議長（浅田 茉衣君） 井澤議員。

○議員（9 番 井澤 ころろ君） 把握されておられないとのことなので、ホームページなどで合鴨農法の推進などをされるのはいかがでしょうか。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 町がということではなかなか難しいところがございます。私も、議員の御質問をいただいてユーチューブのほうで合鴨農法について調べてみました。本当にほほ笑ましく思っておりましたが、なかなか、町で推進するということはやっぱり責任もがございますので、その辺はしっかりと考えさせていただきたいと思います。

○議長（浅田 茉衣君） 井澤議員。

○議員（9 番 井澤 ころろ君） じゃあ、御検討のほどよろしくお願いします。以上で質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 以上で、井澤議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（浅田 茉衣君） 10 番、笹山翔太議員。

○議員（10 番 笹山 翔太君） 10 番、笹山翔太です。スイカのグリーンカーテンの設置について町長にお聞きします。

北栄町の特産品で特に有名なものとして、大栄西瓜、砂丘ナガイモがあります。本年度行われた鳥取中央育英高校とコラボした筋トレ動画は、多くの反響いただきました。

そこで、特産物であるスイカをPRしながら北栄町の魅力を発信し、観光客の目をひく次の企画を提案させていただき、町長のお考えを伺います。

企画内容は、スイカのグリーンカーテンの設置です。グリーンカーテンに大玉スイカを用いたものは難易度こそ高いですが、それだけに一見の価値があると考えます。この立体栽培を環境保護のシンボルとして設置すれば、あらゆる分野、例えば環境意識の高揚や、大栄西瓜のPR、観光促進にも寄与するものと考えますが、いかがでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 笹山議員の、スイカのグリーンカーテンの設置についての御質問にお答えします。

グリーンカーテンは、アサガオやゴーヤなど、花が咲き実がなるなど育てる楽しみがあったり、葉が大きく窓辺の日差しを遮り和らげることで室内を涼しくしたりできるために実施される方が多いと思います。また、種からでも簡単に育てることができるものもあり、家庭菜園初心者にも適していることから広く浸透しています。

御提案のスイカとなると、観光客の目を引くという企画の面では面白いと思いますが、栽培技術であったり病虫害対策の管理等が難しく、生育が困難となる可能性があります。実施となれば、スイカを生産している農家、コナンロード周辺店舗などの協力やスイカの維持管理が必要となりますので、実施は難しいと考えております。

○議長（浅田 茉衣君） 笹山議員。

○議員（10 番 笹山 翔太君） 以上で質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 以上で、笹山議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（浅田 茉衣君） 11 番、高原正剛議員。

○議員（11 番 高原 正剛君） 11 番、高原正剛です。僕は、風車の撤去、譲渡に伴う新たな取組について町長に質問します。

北栄町では、風力発電や太陽光発電、バイオマス産業都市構想など環境への取組が熱心に行われています。特に、北条砂丘風力発電所の風車は、風車と名探偵コナンのまち北栄町のシンボルにもなっています。しかし、耐用年数の 20 年を迎えるに当たり、撤去もしくは企業に譲渡される計画が検討されているとお聞きしましたので、お伺いします。

風車が撤去、あるいは譲渡された場合、2050 年までにゼロカーボンを実現するための北栄町の脱炭素ロードマップへの影響と、ゼロカーボンに向けた風車に代わる新たな取組について、どのようにお考えでしょうか。

高校生の視点から、近年は夏や冬の全校集会や学年集会が困難になっていることを御報告します。これは、暑さや寒さから体調不良者が出ないように配慮しているからです。また、体育の授業での体育館の夏の暑さや冬の寒さも厳しく、活動しにくいと感じています。これは小・中学校でも同様だと思います。小・中学校の体育館の屋根に太陽光パネルを設置し空調を入れれば、学校の活動も環境にやさしい形で快適になります。公共施設の

空調をはじめとする使用電力を、太陽光発電を併用するなどの計画があるかお考えを伺います。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 高原議員の、風車の撤去、譲渡に伴う新たな取組についての御質問にお答えします。

まず、風車が撤去、譲渡された場合の脱炭素ロードマップへの影響とゼロカーボンに向けた風車に代わる新たな取組についての御質問です。

2023年4月に作成した脱炭素ロードマップには、風車がある場合とない場合で取組目標を定めています。風車がない場合は、ある場合に比べて約2.9倍の太陽光発電を導入する必要があるなど、北栄町の脱炭素化に向けて、風車がなくなってしまうことはとても大きな影響があります。風車が撤去された場合、風車以外で取り組める事業、例えば再エネ事業や省エネ事業であります。それを積極的に推進し、暮らしやすい環境を守ることや未来の子どもたちにも地球温暖化防止や気候変動対策を行う持続可能なまちづくりを進めていかなければなりません。

もし、譲渡となれば、引き続き地域で風力発電のクリーンな電力が利用できます。

なお、町では「北栄みらいトーク」というワークショップを積極的に開催しています。また、鳥取中央育英の生徒でなっている方もいらっしゃいます。環境CFO（未来最高責任者）とともに活動も行っています。このワークショップなどでは、このようなことも含めいろいろなことが感じられるよい機会になると思いますので、ぜひ参加をしてみてくださいと思います。

次に、公共施設への太陽光発電の設置、その使用電力、空調の導入などに向けた計画についてです。令和3年3月に策定した北栄町公共施設個別施設計画において、人口減少が進んでいく中、施設を残していくべきかを含めて検討をしています。その中で、残していく施設についても、省エネや再エネの導入を行うことを前提としています。既に、太陽光発電を設置している公共施設もあります。また、使用電力のほとんどは、鳥取みらい電力という地域新電力会社を琴浦町や湯梨浜町、倉吉市とともに設立して、実質再エネ100%のCO<sub>2</sub>を排出しない電力を利用しています。さらには、北条砂丘風力発電所の収益を活用して風のまちづくり事業を展開し、小・中学校の教室の空調や照明のLED化は既に進めてきています。また、体育館の屋根への太陽光パネルの設置や空調導入は、計画を10年ごとに見直しを行う施設を決めており、段階的に検討をしていきます。

○議長（浅田 茉衣君） 高原議員。

○議員（11番 高原 正剛君） もし、風車が撤去された場合、風車があったところは何もなくなると思うんですけど、その敷地は放置するのか、何かに活用するのか、お伺いします。

○議長（浅田 茉衣君） 手嶋町長。

○町長（手嶋 俊樹君） 現在、何も決めていないところであります。

○議長（浅田 茉衣君） 高原議員。

○議員（11番 高原 正剛君） 以上で質問を終わります。

○議長（浅田 茉衣君） 以上で、高原議員の一般質問を終わります。

- 
- 議長（浅田 茉衣君） 以上をもって、本日の日程は全て終了しました。  
これにて、令和6年度北栄町高校生議会の閉会します。

午前10時45分閉会

---

高校生議長あいさつ

- 議長（浅田 茉衣君） 今日、皆さんののおかげで円滑に会議を進めることができました。そして、高校生議会の開催に当たり関わってくださった皆さん、本当にありがとうございました。高校生議会で質問や提案をしたことは、大きな経験になりました。この経験を生かし、今後の地域探究の授業で生かしていきたいと思います。本日はありがとうございました。
- 

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

高校生議会議長

---

署名議員

---

署名議員

---